

## EXR (プレミアム EXR オート/EXR 優先モード)

シーンに最適な EXR モードをカメラ任せで設定したい場合や優先する画質の指標を選んで撮影したい場合に使います。

モードダイヤルを **EXR** に合わせます。表示されるメニューから、使用する **EXR** モードを選んでください。



### EXR プレミアム EXR オート

被写体にカメラを向けるだけで、カメラが自動で撮影シーンと最適な EXR モードを設定します (図 24)。

◆ **画像サイズ**を **AUTO** に設定すると、記録画像は、自動的に適切なサイズで保存されます。

#### ● ● インテリジェントブレ防止について (F550EXR のみ)

● が表示されたときは自動的に連写し、1 枚の画像に合成します。撮影時の手ブレを抑え、高感度でもノイズの少ない写真を撮影できます。







◆ ● は、次のときに有効になります。

- ・撮影メニューの設定が **ON** のとき (図 90)
- ・フラッシュの設定がオートまたは発光禁止のとき (図 42)

- ① カメラをしっかり構えて撮影してください。
- ① 処理に時間がかかる場合があります。
- ① 動いている被写体の場合、合成処理に失敗することがあります。
- ① 撮影中にカメラを大きく動かした場合や撮影シーンによっては、合成されずに記録されることがあります。
- ① この機能での撮影では、通常より撮影範囲が狭くなります。


## EXR 優先モード

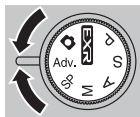
EXR 優先モードには、次のモードがあります。用途に応じて、モードを選びます。

モード	説明
 高解像度優先	被写体の細部までくっきりと撮影したいときに選びます。
 高感度低ノイズ優先	高感度で撮影したときに発生するノイズを軽減したいときに選びます。
 ダイナミックレンジ優先	白とびを抑え、明るい部分の階調まで撮影したいときに選びます。  ダイナミックレンジで  1600%と  800%も設定できます (頁92)。

## Adv. アドバンスモード

高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます。

モードダイヤルを **Adv.** に合わせます。撮影メニューの  **Adv. モー**ドから、使用するアドバンスモードを選んでください。



### ぐるっとパノラマ 360

カメラを動かして撮影した複数の画像を自動で合成し、1枚のパノラマ写真を作成します。ぐるっとパノラマ 360 モードでは、広角側に固定されます。



#### 1 撮影する角度（撮影画角）を選びます。

▼ を押して撮影画角変更画面を表示させ、◀ または ▶ で撮影する角度を選び、MENU/OK ボタンを押します。

#### 2 撮影方向を選びます。

▶ を押して撮影方向選択画面を表示させ、◀ または ▶ で撮影する方向を選び、MENU/OK ボタンを押します。

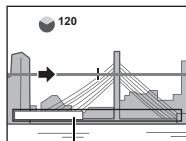
#### 3 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始します。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

#### 4 矢印方向にカメラを動かします。

矢印方向にカメラをガイドバーの終端までスムーズに動かすと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。

◆ 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が120度以下の場合は、パノラマ写真は保存されません。



ガイドバー

#### ● うまく撮影するには

- 一定の速度で小さな円を描くようにカメラを動かします。
  - カメラを地面と平行（水平）に構え、ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
  - うまくいかないときは、移動速度を変えてください。
- ① 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
  - ① 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
  - ① 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
  - ① カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
  - ① 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
  - ① 以下の場合は、ぐるっとパノラマ 360 撮影には適していません。
    - 被写体が動いている
    - 被写体とカメラの距離が近すぎる
    - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
    - 波や滝など常に模様が変わる風景
    - 明るさが大きく変動するシーン

## ☑️ ぼかしコントロール

人物や花などの背景をぼかし、被写体を強調して撮影したいときに使用します。シャッターを押すと最大3コマ連写し、カメラが自動的にピントを合わせた被写体以外の背景をぼかします。一眼レフカメラで撮影したようなぼけ味のある写真を撮影できます。撮影前に ◀ または ▶ でぼかしの強度を3段階から設定できます。



◆ セットアップメニューの **📷 処理前画像記録**では、**☑️ ぼかしコントロール**で処理する前の画像も同時に記録するように設定できます (☞ 116)。

- ① 被写体と背景が近づきすぎていると、背景をうまくぼかせないことがあります。フォーカスロック時に「! 背景をぼかせません」とメッセージが出たときは、被写体から少し離れて、**📷** (望遠) 側へズームレバーを動かし調整してください。
- ① 動いている被写体の場合、ぼかし処理に失敗することがあります。
- ① ぼかし処理が失敗すると「**📷 画像を確認してください**」とメッセージがでます。再度、撮影してください。
- ① 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- ① この機能での撮影では、通常より撮影範囲が狭くなります。

## **連写重ね撮り**

暗いシーンや望遠撮影時の止まっている被写体の撮影に適しています。シャッターを押すと連写し、カメラが自動的に1枚の画像に合成します。手ブレを抑え、高感度でもノイズが少ない写真を撮影できます。




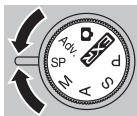
◆ セットアップメニューの **処理前画像記録** では、**連写重ね撮り** で処理する前の画像も同時に記録するように設定できます (p.116)。



















- ① 動いている被写体の場合、合成処理に失敗することがあります。
- ① 撮影中にカメラを大きく動かした場合や撮影シーンによっては、合成されずに記録されることがあります。
- ① 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- ① この機能での撮影では、通常より撮影範囲が狭くなります。

## SP シーンポジション





いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションが用意されています。




モードダイヤルを **SP** に合わせます。撮影メニューの  シーン選択から、使用するシーンモードを選んでください。



シーン	機能
 高感度 2 枚撮り	フラッシュ非発光 / 発光で連続 2 枚撮影します。
 ナチュラルフォト	暗い場面でも、目で見たままの雰囲気を活かした自然な写真を撮影します。
 人物	人物の撮影に適しています。
 美肌	肌を滑らかに撮影します。
 ペット検出 (いぬ)	犬の撮影に適しています。
 ペット検出 (ねこ)	猫の撮影に適しています。
 風景	昼間の風景撮影に適しています。
 スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。
 夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。
 夜景 (三脚)	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
 花火	スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。
 夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
 スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
 ビーチ	日差しの強い浜辺での撮影に適しています。
 水中	別売の防水プロテクターを装着して水中撮影を行うときに使います。
 パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。
 花の接写	花に近づいて撮影するときに使用します。
 文字の撮影	書類やホワイトボードなどを撮影するときに使用します。

### ペット検出 ( いぬ / ねこ) について

 を選択すると犬の、 を選択すると猫のそれぞれ正面の顔を検出し、ペットの顔にピンツの合った写真が撮影できます。また、これらのペット検出モードに設定しているときは、セルフタイマー設定画面 (図44) で  ペットオートシャッターを選べます。 ペットオートシャッターでは、カメラが犬または猫の顔を検出すると、自動的に撮影します。

 ピクチャーサーチ (図61) でそれぞれのモード ( ペット検出 (いぬ) または  ペット検出 (ねこ)) で撮影した画像で検索することができます。

- ◆ ペット検出では多くの種類の犬、猫の顔を検出できますが、種類や状態によっては検出ができない場合があります。
- ◆ 顔が検出されない場合は、シャッターボタンを半押ししたときに液晶モニターの中央にピンツが合います。
- ◆ 顔が検出できない場合は、被写体を画面中央に置いて撮影してください。
- ◆ 検出が苦手な例
  - ・ 顔全体が黒い種類
  - ・ 長い毛で顔が覆われている種類

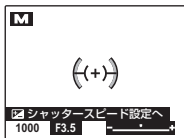


## M マニュアル

**M** マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値も撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。モードダイヤルを **M** に合わせます。

コマンドダイヤルで絞り値とシャッタースピードを設定します。

☑ (露出補正) ボタンを押すたびに、シャッタースピード設定と絞り設定が切り換わります。



### 露出インジケータについて

画面の右下の露出インジケータを目安に露出を決定します。

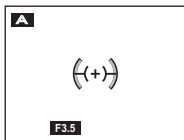


## A 絞り優先

**A** 絞り優先では、絞りを設定できます。設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。モードダイヤルを **A** に合わせます。

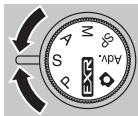
コマンドダイヤルで絞り値を設定します。

- ① 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。その場合は絞り値を設定し直してください。
- ① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。その場合はシャッターボタンを半押しして測光し直してください。



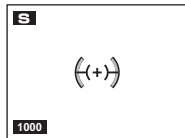
## S シャッター優先

S シャッター優先では、自分で選んだシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。  
モードダイヤルを **S** に合わせます。



コマンドダイヤルでシャッタースピードを設定します。

- ① 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。その場合はシャッタースピードを設定し直してください。
- ① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「F---」と表示されます。その場合はシャッターボタンを半押しして測光し直してください。



## P プログラム

P プログラムでは、カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。  
モードダイヤルを **P** に合わせます。



- ① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「----」と表示されます。その場合は、シャッターボタンを半押しして測光し直してください。